

第71回北海道体育大会 兼

第79回国民スポーツ大会馬術競技北海道ブロック大会 実施要項

- 主 催 公益財団法人 日本スポーツ協会
公益財団法人 北海道スポーツ協会
公益社団法人 日本馬術連盟
- 主 管 北海道乗馬連盟
酪農学園大学馬術部
- 後 援 スポーツ庁 北海道
- 協 力 北海道大学馬術部
帯広畜産大学馬術部



大会役員 (順不同敬称略)

- 大会会長 北海道乗馬連盟会長 吉田 勝 已
- 大会副会長 北海道乗馬連盟副会長 広瀬 春 行
- 技術代表・上訴委員長 長田 稔
- 審判長 松下 敏昭
- 審判員 広瀬 春行 石川 信行 斎籐 比呂志 石川 政昭 田上 雅美 菅原 福次
畠山 彩 富川 創平 鷺田 潤弥 小田 正志 松原 真佐子 原 啓二
細川 由妃 稲原 智子 宮竹 智明
- コースデザイナー 高橋 尚裕
- アシスタントCD 内藤圭夢/北海道コースデザイナーチーム
- 装 蹄 畠山 朋弘
- 獣医委員 川崎 洋史
- チーフスチュワード 山畠 輝男
- メディカルサービス 岩崎 晃実

競技役員

- | | | | |
|-------|--------|--------|--------|
| 競技委員長 | 村上 恵祐 | 競技副委員長 | 楠木 貴成 |
| 組織委員長 | 広瀬 春行 | 総務委員長 | 石川 信行 |
| 施設委員長 | 佐藤 友信 | 総務委員 | 木戸 夢翔 |
| 施設委員 | 坂本 篤志 | 会計委員 | 福森 涼香 |
| 記録委員 | 藤井 幹太 | 賞典委員 | 旭岡 愛彩花 |
| 放送委員 | 大谷 菜桜 | 事務局 | 高橋 麻里子 |
| 障害委員 | 鮫ノ口 航太 | 馬場委員 | 村田 彩子 |

1 期 日 令和7年7月25日(金)～ 令和7年7月27日(日)

2 会 場 ノーザンホースパーク 苫小牧市美沢114-7

3 国民スポーツ大会参加人馬の選考

・国民スポーツ大会の出場人馬は以下の選考種目の成績をもとに、北海道乗馬連盟国民スポーツ大会北海道代表選手選考委員会において選考します。

成年男子:成年男子総合第1競技、障害飛越第8・16競技、馬場馬術第13競技

成年女子:障害飛越第5・14競技、馬場馬術6競技

少 年:障害飛越第6・15競技、馬場馬術第12競技

・上記の選考種目に出場した乗馬が国民スポーツ大会への出場を辞退した場合、騎乗した選手選考の対象外とします。また、馬場馬術競技は60%以上の得点がないと選考対象となりません。

・国スポ人馬選考対象障害飛越競技に使用する馬の使用回数は同一種目につき1回限りとし、国スポ人馬選考対象障害競技に参加する同一人馬は MD 級以下の障害競技には参加できません。

・第 79 回国民スポーツ大会馬術競技に出場を希望する人馬は、本ブロック大会エントリーとは別に「出場選手・馬匹登録」を北海道乗馬連盟へ提出しなければなりません。

4 日程及び競技種目

第1日 7月25日(金)12:00～16:30

フレンドシップ競技(70 cm以下クラス・90cm 以下クラス・110 cm以下クラス・130 cm以上クラス)

第2日 7月26日(土)

区分	競技課目	実施要項
障害馬術競技	2 標準小障害 A part1	H100cm 以内 W120cm 以内 10～12 障害 JEF 基準 A238 条 2-1
	3 少年小障害 A part1	H100cm 以内 W120cm 以内 10～12 障害 JEF 基準 A238 条 2-1
	4 中障害 D S&H	H105cm 以内 W130cm 以内 12～15 障害 JEF 基準 C263 条適要
	5 成年女子 S&H	H120cm 以内 W140cm 以内 13 障害 JEF 基準 C263 条適要
	6 少年 S&H	H110cm 以内 W130cm 以内 13 障害 JEF 基準 C263 条適要
	7 中障害 C S&H	H115cm 以内 W140cm 以内 13 障害 JEF 基準 C263 条適要
	8 成年男子 S&H	H130cm 以内 W150cm 以内 13 障害 JEF 基準 C263 条適要
	9 標準小障害 B part1	H90cm 以内 W110cm 以内 8～10 障害 JEF 基準 A238 条 2-1
	10 少年小障害 B part1	H90cm 以内 W110cm 以内 8～10 障害 JEF 基準 A238 条 2-1
	11 標準小障害 C part1	H80cm 以内 W100cm 以内 8～10 障害 JEF 基準 A238 条 2-1
	12 少年小障害 C part1	H80cm 以内 W100cm 以内 8～10 障害 JEF 基準 A238 条 2-1
	13 ステップアップジャンピング	H60cm 以内 W90cm 以内 8～10 障害 JEF 基準 A238 条 2-1

区分	競技課目		実施要項
馬場馬術競技	1	成年男子総合馬場馬術	FEI 総合馬術競技スリースター 2025 馬場馬術課目 B
	2	第3課目 A	JEF 第3課目 A 2022
	3	少年 第3課目 A	JEF 第3課目 A 2022
	4	第4課目 A	JEF 第4課目 A 2022
	5	第5課目 A	JEF 第5課目 A 2022
	6	成年女子セントジョージ賞典	FEI セントジョージ賞典馬場馬術課目 2009
	7	ワンスター part1	FEI 総合馬術競技ワンスター 2025 馬場馬術課目 B
	8	第2課目 D part1	JEF 第2課目 D 2022
	9	第2課目 B part1	JEF 第2課目 B 2022
	10	少年 第2課目 B part1	JEF 第2課目 B 2022
	11	ステップアップ第2課目 B	JEF 第2課目 B 2022 ※ 参加条件参照

第3日 7月27日(日)

区分	競技種目		実施要項
障害馬術競技	1	成年男子総合障害競技	H120cm 以内 W140cm 以内 10～11 障害 JEF 基準 A238 条 2-2
	14	成年女子標準障害	H125cm 以内 W145cm 以内 10～13 障害 JEF 基準 A238 条 2-2
	15	少年標準障害	H120cm 以内 W140cm 以内 10～13 障害 JEF 基準 A238 条 2-2
	16	成年男子障害飛越競技	H140cm 以内 W160cm 以内 10～13 障害 JEF 基準 A238 条 2-2
	17	標準中障害 D	H110cm 以内 W130cm 以内 10～13 障害 JEF 基準 A238 条 2-1
	18	少年中障害 D	H110cm 以内 W130cm 以内 10～13 障害 JEF 基準 A238 条 2-1
	19	標準中障害 C	H120cm 以内 W140cm 以内 10～13 障害 JEF 基準 A238 条 2-1
	20	標準小障害 A part2	H100cm 以内 W120cm 以内 10～12 障害 JEF 基準 A238 条 2-1
	21	少年小障害 A part2	H100cm 以内 W120cm 以内 10～12 障害 JEF 基準 A238 条 2-1
	22	標準小障害 B part2	H90cm 以内 W110cm 以内 8～10 障害 JEF 基準 A238 条 2-1
区分	競技種目		実施要項
馬場馬術競技	12	少年馬場馬術	FEI ジュニアライダー団体馬場馬術課目 2009
	13	成年男子セントジョージ賞典	FEI セントジョージ賞典馬場馬術課目 2009
	14	第3課目 B	JEF 第3課目 B 2022
	15	少年第3課目 B	JEF 第3課目 B 2022
	16	第4課目 B	JEF 第4課目 B 2022
	17	第5課目 B	JEF 第5課目 B 2022
	18	ワンスター part2	FEI 総合馬術競技ワンスター 2025 馬場馬術課目 B

19	第2課目 B part2	JEF 第2課目 B 2022
20	少年 第2課目 B part2	JEF 第2課目 B 2022
21	第2課目 C	JEF 第2課目 C 2022
22	第2課目 E	JEF 第2課目 E 2022

加資格

(1) 国民スポーツ大会参加人馬選考種目

- ① 参加選手は、申し込み時に、(公社)日本馬術連盟の個人会員であり、かつ、日本馬術連盟の B 級以上の騎乗者資格を取得していること。
(少年は、北海道乗馬連盟会長の乗馬歴証明を提出することにより出場可とする)
- ② 参加馬は、申し込み時に(公社)日本馬術連盟の登録馬であること。
- ③ 少年種別に参加するには、中学3年生を含む平成23年(2011年)4月1日以前に生まれた者から平成19年(2007年)4月2日以降に生まれた者とする。

(2) 上記(1)以外の種目

- ① 中障害以上の障害飛越競技及び第3課目 A 以上の馬場馬術競技に参加する選手は、JEF 騎乗者資格 B 級または全日本学生馬術連盟 SA 級(またはそれらと同等)以上の騎乗者資格を取得していることが望ましい。
- ② 小障害以下の障害飛越競技及び第2課目 D 以下の馬場馬術競技に参加する選手であっても、JEF 騎乗者資格 C 級以上を取得していることが望ましい。本連盟は資格を有しない選手に対し、競技中の危険防止のためにも早急に取得することを推奨する。
- ③ 中学生以下の選手は、保護者の承諾書を必要とする。
- ④ 参加馬は申し込み時において(公社)日本馬術連盟もしくは北海道乗馬連盟の登録馬であること。

6 参加条件

- (1) 競技中の人馬の事故に対して、主催者は応急処置をするが、事故の責任は一切負わない。
- (2) 参加選手は、必ず傷害保険に加入し、未成年者は保護者の同意を得ていること。
- (3) 同一馬の出場回数は、1日あたり原則5回までとする。
- (4) 同一種目への出場は、1選手3頭までとする。
- (5) 少年が一般種目に出場することはできるが、同種競技少年種目に同一人馬で出場することはできない。 少年: 高校生年齢以下の選手。 一般: 少年以外の選手。
- (6) 馬場馬術競技第2課目 B と第3課目 B は、重複して出場することができる。
- (7) 馬場馬術ステップアップ第2課目 B において以下4点の道具の使用を許可する。長鞭(120cm以内)、ティーダイヤモンド手綱、バランシングレイン、騎乗者のボディプロテクター
これ以外の道具の使用を希望する人馬は、競技開始前までに馬場審判長まで申し出ること
- (8) 小障害 A,B,C, 中障害 D クラスでは、同一馬での出場回数に制限を設けない。
但し、副賞として賞金がある場合、最初に出場した人馬の成績のみを考慮する。

(9)中障害 B,C クラスで、同一馬が複数回は出場する場合、2 回目以降の人馬をオープン参加とする。

7 審判規程

国際馬術連盟審判規程及び日本馬術連盟競技会規程を適用する。

8 参加料および参加申込について

(1) 参加料

一般選手	6,000 円
少年選手	4,500 円
小障害 B・C	
馬場第2課目	4,000 円
少年小障害 B・C	
少年馬場第2課目 B	3,000 円
ステップアップ	3,000 円
参加乗馬登録料	5,000 円／1 頭
仮厩舎使用料	7,500 円／1 頭
フレンドシップ競技	3,000 円
	4,000 円

* 競技開始後の追加エントリー

(2) 参加申込方法

所定の用紙に必要事項を記入し、下記 大会事務局宛に E メールにてエクセルファイルを送付。または FAX・郵送。同時に参加費用を指定口座に送金する。

(3) 申込先

〒062-0905

札幌市豊平区豊平 5 条 11 丁目 1-1 北海道総合体育センター内
北海道乗馬連盟 大会事務局

TEL : 011-833-2252 FAX:011-876-8989

E メールアドレス hef@royal.ocn.ne.jp

指定口座 北洋銀行 豊平支店 普通預金

口座番号 1 2 4 9 7 7 1 口座名 北海道乗馬連盟競技

(4) 申込期限 2025年7月14日(月)必着

(5) 参加申込にあたっての注意事項

① 申込に関わるすべての提出書類において、記入漏れが一切ないように留意すること。

② 申込書類の提出と参加料及び参加乗馬登録料等の納入は申込期限までに行うこと。

なお、一度納入された参加料及び参加乗馬登録料等は、競技不実施の場合を除き、如何なる理由があっても返却しない。

- ③ 参加申込後の選手または馬匹の変更は、大会事務局宛にメールまたは書類(FAX)での申し出があった場合に限り認めるが、1 エントリーにつき 1,000 円の変更手数料を徴収する。ただし、大会 3 日前(開催週の火曜日)までは、変更手数料を減免する。
- ④ 追加エントリー(7月22日以後の参加申し込み)は、競技の進行に支障のない範囲で認めるが、1 エントリーにつき 1,000 円の追加手数料を徴収する。ただしステップアップジャンピングについては、追加手数料は徴収しない。

9 周知事項

- (1) 選手会は、7月25日(金)17:00 から審判棟1階で開催します。選手会には、各団体 2 名以内の参加とし、打合せの内容を会に参加出来なかった選手、関係者へ伝えてください。
- (2) **選手会以降の追加エントリーはオープン参加とする。**
- (3) 参加人馬登録名簿には、出場選手の騎乗者資格(保有者)を必ず記入してください。メディカルカードは、現在誓約書と兼ねているので選手毎に1枚ずつ記入のうえ、必ず提出してください。
- (4) 障害馬術競技に出場する競技者及び関係騎乗者は、競技場、待機馬場及び練習場へ乗馬で入場する際は、防護帽を着用することとし、着用していない騎乗者は入場を認めません。また、危険防止のため乗馬競技用ヘッドギアを適正に装着する事。
- (5) 表彰式は観覧席前で行います。開始時刻と入賞者を放送で連絡しますので入賞者は必ず出席してください。出席できない時は代理者が出席、または表彰状等を審判棟1F の団体別封筒等に準備しますので必ず取りに来てください。表彰数はその競技の参加者(棄権人馬は除く)の4分の1とし、最大8名までとします。また、馬場馬術競技においては、得点率が45%以上でなければ入賞の対象としません。
- (6) 馬輸送費の一部を補助します。競技会後にお振込します。
- (7) 馬糧は支給しませんが、敷き料は支給します。(追加は別途費用がかかります。)
- (8) 主催者は選手の宿泊施設を斡旋しませんので、各自で用意して下さい。但し、ホースマネージャー(各団体最大2名)のみ可。希望団体は直接ノーザンホースパークへ申し込んで下さい。
- (9) 競技中に撮影された写真は、HP・各メディア等で用いられることがありますので、ご了承ください。

10 参加馬の入厩条件及び馬場馬術競技場の馴致

- (1) 入厩期間は、**7月25日(金)から7月27日(日)**までとします。**期間以前の入厩は原則禁止といたします。**やむを得ない事情がある団体は入厩1週間前までに大会事務局迄申し出る事。なお、厩舎割り当て及びホースマネージャーの宿泊所の割り当ては、当日会場に掲示しますのでご覧下さい。
- (2) 入厩届けは、参加申込書類に添付して大会事務局に提出して下さい。
- (3) 参加馬は、家畜伝染病予防法に基づく検査及びインフルエンザ予防接種をノーザンホースパークからの通達に基づき、予防接種等を受けた証明書と健康手帳を必ず携行して下さい。
- (4) 入厩に際しては、馬運車到着後直ちに予防接種等証明書と健康手帳をノーザンホースパーク・インドア事務所に提出し、入厩の了承を得てから入厩して下さい。
- (5) 馬場馬術競技場は、大会第1日の13時から16時30分まで自由に使用することが出来ます。(た

だし、馬場馬術競技出場馬のみ)

- (6) 7月 25 日(金)から7月 27 日(日)の競技終了までの大会期間中に競技以外での障害のメインアリーナの使用はできません。(ノーザンホースパーク、ノーザンファームは除く)

11 乗馬振興奨励金について

配布基準

- (1) 競技種目は以下の通りとする
障害馬術は中障害 D 以上、馬場馬術は第3課目以上。
- (2) 1 種目 1~5 エントリーの競技は 1 位のみ、6~9 エントリー以上の競技は 2 位まで、10 エントリー以上の競技は 3 位までを対象とする。
- (3) 馬場馬術競技の場合は 55%以上の得点であること。障害馬術競技は、目立って減点数が多い場合は、その都度、HEF 事務局で検討する。
- (4) 1 位:5000 円、2 位:3000 円、3 位:2000 円とする。
- (5) 各大会終了後、団体毎にまとめて振込口座に入金予定(各団体で該当馬持ち主に配布)
- (6) 公認競技は対象外とする。

12 注意事項

- (1) ノーザンホースパークに入園の際には、入口で必ず通行証を提示して下さい。

通行証を所持していないときは、所定の入園料を支払って下さい。このことは、競技に関わる全ての人に該当しますので、各団体の会員の皆様に周知徹底して下さい。

- (2) 競技会関係者の方々は、ノーザンホースパークへの来園者に対し、親切丁寧に対応していただきますようお願いいたします。

※エントリー等、ご不明な点がございましたら事務局までお問い合わせください。